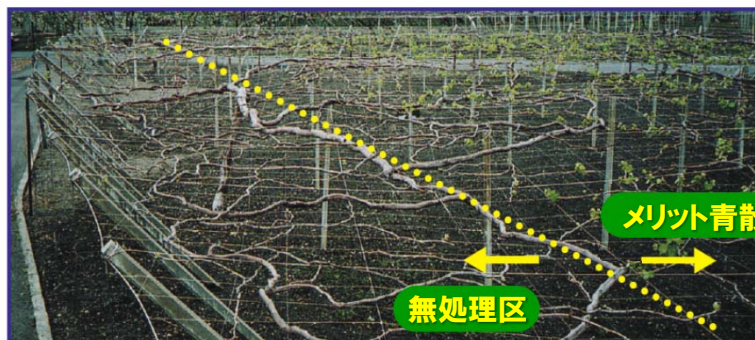


萌芽の促進・芽揃い・展葉促進に

メリット[®]青の散布

巨峰・ピオーネには、原液処理が有効です

●巨峰のメリット青による萌芽の促進事例(1月中旬に原液散布 山梨県) - 2004年4月13日撮影 -

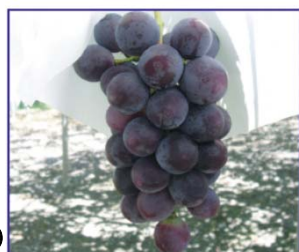


無処理区 (2004年4月17日撮影)



メリット青散布区 (2004年4月17日撮影)

メリット青には安定して萌芽を促進する効果があります



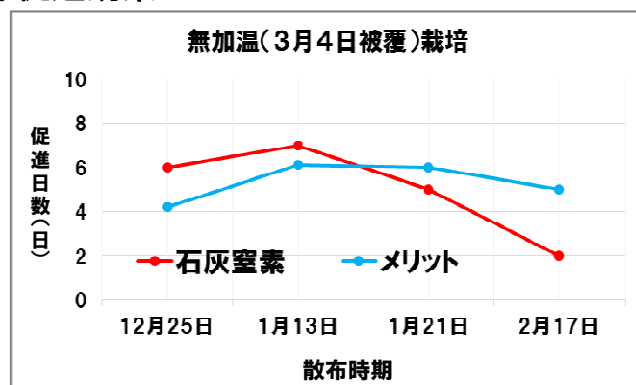
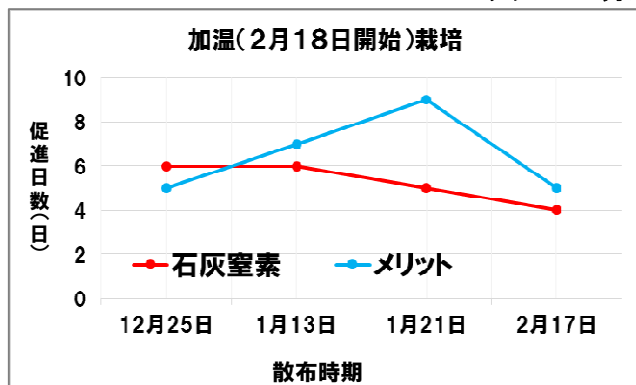
無処理区 (2004年7月14日撮影)



メリット青散布区 (2004年7月14日撮影)

萌芽期の違いにより着色にも差が出ます

— メリットの萌芽促進効果 —



品種:デラウェア 大阪府農林技術センター発表資料より

メリット青は1月以降も安定して効果があります

メリット青は永年にわたる信頼性の高い試験と豊富な使用実績で、確実な効果と安全性が確認されています。上手な使い方と早期出荷、増収を一層確実にしてください。

巨峰・ピオーネの萌芽促進に…

- ハウス栽培……………被覆直後に
 - 無加温・ホース……………1月上～下旬
 - 露地の芽揃い……………1月上中旬～2月上旬
- ※萌芽がそろい、促進効果が高くなります
- 原液を結果母枝に充分塗布または散布します。

デラウェアの萌芽の促進に…

- メリット青を等量の水でうすめ(2倍液)、結果母枝に充分塗布または散布します。
 - 処理時期
 - 12月～1月加温ハウス…ビニール被覆後1週間以内に処理
 - 2月以降の加温ハウス
 - 無加温、トンネル
 - ホース(芽ぶくろ)
 - 露地
- 1～2月に処理
- 効果 12月～1月加温ハウス……………7～15日程度促進
 - 半加温～無加温ハウス……………5～10日程度促進
 - トンネル、ホース(芽ぶくろ)……………4～6日程度促進
 - 露地……………4～6日程度促進
- *気象条件により多少異なります。



芽揃いに…

- 巨峰・ピオーネ・甲斐路などの長い枝は先端の1～2芽を除いて元芽に処理すると芽揃いが良くなります。



芽枯れ防止・枝の乾燥防止に…

- メリット青2倍液処理後、水上げ期までに200倍で2～3回枝に散布します。
- 芽枯れを防ぎ、発芽、芽揃いを良くします。

展葉後の葉面散布(新葉の充実、緑化促進)に…

- 展葉3～5枚頃に300倍で2回葉面散布します。(メリット青またはアミノメリット青)
- 葉の緑化を促し、光合成能力を高めます。

包装: 1kg、6kg、20kg

使用上の注意

- 石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。
- 目に入らぬように注意し、もし目に入った場合はすぐに水で十分に洗い流してください。
- 高温で日照の強い時など、不適と考えられる条件での散布は、避けてください。早朝もしくは夕刻の涼しい時に散布してください。
- 高温で散布後の液剤が乾燥しにくい時や樹勢の弱い園では、濃度をうすめにするか、散布をひかえてください。
- うすめた液はその日のうちに使い切ってください。
- 直射日光を避け涼しい所に保管してください。
- 沈殿物や結晶を生じることがありますので、よく振ってお使いください。
- 詳しい使い方については、JAまたは農業技術指導機関にご相談ください。